



昔あそびで三世代交流!

# 「はまなす会」

▲おもちゃを手にする「はまなす会」の皆さん（前列右が会長の杉村<sup>すぎむらあきら</sup>斌さん）



▲けん玉に挑戦!



▲どうすればうまく回るかな

区内の幼稚園や小学校、児童会館などで子どもたちや保護者に、けん玉やこま回し、お手玉などの昔あそびを伝える「はまなす会」。

「はまなす会」は昔あそびを通じた世代間の交流を目的に、札幌市三世代交流協会の一員として結成されました。今年で11年目を迎え、現在5人の会員で活動しています。

昔あそびは会員の皆さんが子どもの頃に親しんだものばかりです。会員の一人は「子どもたちは初めて見るおもちゃにとっても興味を持ってくれます。私たちも、子どもたちと一緒に遊ぶことで、いつも元気をもらっています」と笑顔で語ります。

また、親子共通の遊びを持つことで、家族の会話のきっかけにもなっているそうです。会長の杉村さんは「昔あそびを親子で一緒にすることが、明るい家庭づくりや、子どもの健やかな成長につながると考えています」と話し、「これからもいろいろな世代が同じ遊びをし、ともに過ごす機会をつくる活動を続けていきたいですね」と抱負を語ってくれました。

編集 手稲区役所総務企画課広聴係

ホームページ「ていねっていいね」<http://www.city.sapporo.jp/teine/>  
〒006-8612 札幌市手稲区前田1条11丁目  
☎681-2400内線224 FAX681-6639